



平成 19 年 2 月 13 日

各 位

東京都中央区銀座六丁目 2 番 1 号  
株式会社ダヴィンチ・アドバイザーズ  
代表取締役社長 金子 修  
(コード番号: 4314 大証ヘラクレス市場)  
問合せ先: 取締役 CFO 荒川 貴次  
TEL 03-6215-9700

### 平成 18 年 12 月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

このたびのお知らせは、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 平成 18 年 9 月 8 日 実務対応報告第 20 号)の適用に関し連結の範囲につき監査法人と協議を行った結果、従来非連結子会社として処理していました当社グループが組成・運用するファンドの全てを連結子会社として処理することを決定いたしましたことにより、売上高および経常利益が大幅に増加することによる修正のお知らせであります。

しかしながら、前回(平成 18 年 2 月 13 日)発表しました当期の連結業績予想は当該ファンドを持分法で処理して作成したものであります。従いまして、株主および関係者の皆様が前回予想と比較できることにより容易にご理解していただくことを目的として、当該ファンドを持分法で処理した場合の連結業績修正予想を先ず参考情報としてお知らせいたします。

参考情報

(単位: 百万円, %)

	連結売上高	連結経常利益	連結当期純利益
前回発表予想(A)	16,339	12,854	7,706
持分法による 今回修正予想(B)	20,400	15,300	9,100
増減額(B-A)	4,061	2,446	1,394
増減率(%)	24.9	19.0	18.1
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 12 月期)	9,502	6,973	4,481

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 5,923 円 98 銭、前回発表予想 25,082 円 51 銭  
なお、平成 18 年 3 月 4 日に普通株式 1 株を 5 株に分割しておりますので、分割後の発行済株式数を用いて前回発表予想の 1 株当たり予想当期純利益を再計算しますと 5,016 円 50 銭となります。

当期に組成を開始した4本目のオポチュニティ・ファンド（“カドベ” ファンド）のエクイティ募集が計画していたコミットメント額を超えて終了したことによりマネジメント・フィーが増加したこと、および不動産市況の回復により想定以上の高い価格でファンド所有の不動産を売却できたことによりインセンティブ・フィーなどが増加したことにより、売上高は前回予想に対し 24.9%の増収予想となっております。一方、経常利益および当期純利益は前回予想に対しそれぞれ 19.0%、18.1%の増益予想となっております。

## 記

### 1. 平成 18 年 12 月期連結業績予想数値の修正（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

（単位：百万円，%）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	16,339	12,854	7,706
今回修正予想 (C)	131,900	30,500	9,100
増減額 (C-A)	115,561	17,646	1,394
増減率 (%)	707.3	137.3	18.1
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 12 月期)	9,502	6,973	4,481

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）5,923円98銭、前回発表予想 25,082円51銭

なお、平成 18 年 3 月 4 日に普通株式 1 株を 5 株に分割しておりますので、分割後の発行済株式数を用いて前回発表予想の 1 株当たり予想当期純利益を再計算しますと 5,016円50銭となります。

### 2. 修正の理由

「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」（企業会計基準委員会 平成 18 年 9 月 8 日 実務対応報告第 20 号）の適用に関し連結の範囲につき監査法人と協議を行った結果、従来非連結子会社として処理していましたが当社グループが組成・運用するファンドの全てを連結子会社として処理することを決定いたしました。これにより連結売上高は主にファンドの不動産売却収入と家賃収入で構成されることとなり、従来と同様の持分法で作成した場合の連結財務諸表と比較して売上高、経常利益が増加いたします。なお、当期純利益は当該ファンドを持分法として処理した場合の当期純利益（参考情報参照）と同額であります。

以上